

宇出津地区復興まちづくりニュース

第1号

地区別復興まちづくりの取組をスタートしました！

能登町の**町内5小学校区の個性**
や**特徴を生かした復興まちづくり**
を具体的に進めるための計画として、
「地区別復興まちづくり計画」の策定を
進めています。

「復興まちづくりニュース」を発行し、
計画策定の取組状況等を発信してまい
ります。

地区区分



01

地区別復興まちづくり計画の取組について

宇出津地区の復興に向けた取組状況

地区の皆様からご意見をいただきながら、計画の策定を進めています。

宇出津地区 復興まちづくり協議会

【参加者】委員 15 名
町会区長会連合会代表、小学校 PTA 関係者、
公民館関係者、消防団員、町復興推進委員、一般公募

【協議内容】

- ・復興公営住宅について
- ・災害に強いまちづくりについて
- ・宇出津地区の復興を越えた未来の姿について

住民ワークショップ

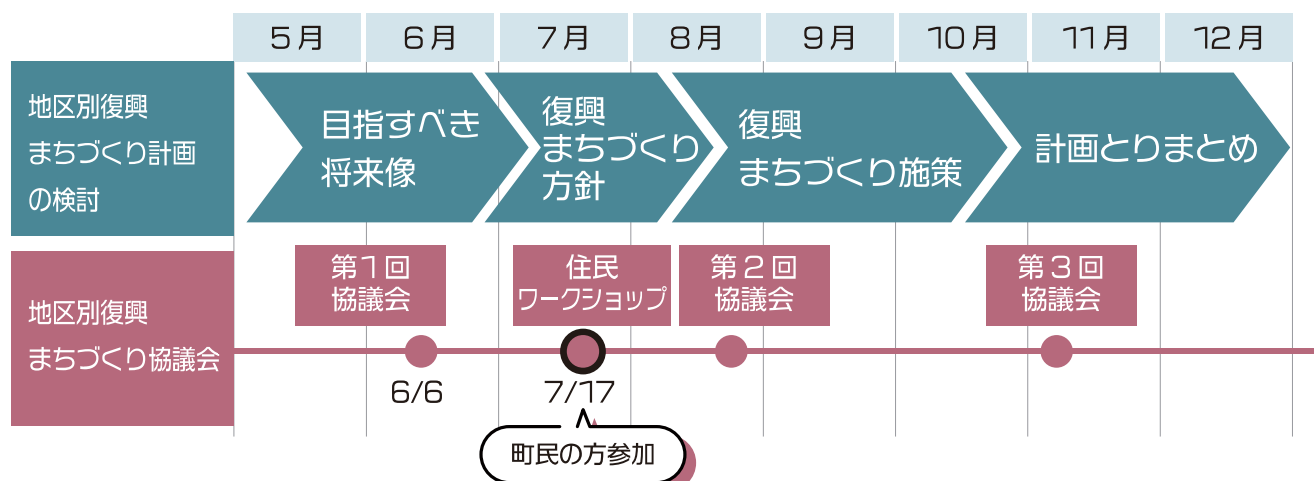
【参加者】町民

能登町

能登町復興計画
(令和7年2月策定)

地区別復興
まちづくり計画
(作成中)

宇出津地区の復興に向けた今後の流れ

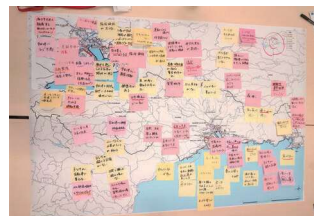


【日 時】 令和7年6月6日(金) 18時30分～20時30分

【会 場】 能登町役場

【テーマ】 ①宇出津区について

②今後の宇出津地区のまちづくりに求めること



協議会での主な意見

【交流の場づくり】

震災後は飲食店や民宿などの閉業により、交流する場所・機会が失われつつある。

⇒空き地、空き家を活用した
チャレンジジョブなど、
まちなかに交流の場が
できると良い。

【まちの利便性】

能登町の中心として都市機能が集まっていることを生かし、生涯能登町で安心して生活し続けられることが望ましい。

⇒産婦人科、小児科など、医療機関が
充実するとよい。

⇒子供が安心して遊べる、防災機能を
有した公園を整備できないか。

【歴史資源】

まちなかには歴史を感じられる家屋や路地が残っている。

⇒街並みにあった住宅や、
復興公営住宅の整備を
進めてほしい。

【景観】

富山湾を挟んだ立山連峰や農村の風景など、景観資源に優れている。

⇒自然景観を生かした
サイクリングロードの
整備等ができるとうい。

【交通】

中学校の統合などにより交流範囲が広がる中で、子供や高齢者の移動手段が課題になっている。

⇒バスの利便性向上や、
徒歩・自転車と安全に
移動できる環境の整備
が必要ではないか。



このニュースへのご意見や、まちづくりに関するご質問等がありましたら、お気軽にご連絡下さい。

問い合わせ先

能登町 復興推進課 担当：灰谷・道岸・朴澤

TEL：0768-62-8529 MAIL: fukkousuishin@town.noto.lg.jp

ホームページURL

<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1008/gyomu/1/1/4376.html>

